

令和4年度 第2回日本脊椎脊髄病学会 安全医療推進委員会 議事録

2022.03.29 (火) 18:30-19:30

場所：オンライン会議（会議主催地：名古屋大学医学部附属病院 会議室）

出席委員： 高相（担当理事） 今釜（委員長） 大谷 奥田
金村 川口 小西 酒井 須田 手束 中西
西田 町野（書記） 宮腰 大和 湯川（敬称略）
欠席委員： 相澤 村上（敬称略）

議事

1. 報告事項

（ア）日本脊椎脊髄病学会理事会（2022年3月）：高相先生

高相担当理事から理事会報告がされ、下記内容を確認した。

1. 本委員会で進めているアンケート調査研究（酒井先生と手束先生の脊椎脊髄手術における周術期抗血栓薬使用の安全性についての研究、川口先生の脊椎手術における部位確認に関する研究）の内容について、調査結果を2022年4月のJSSR学会で発表する予定。
2. 本委員会を中心に今後プリオン病感染予防についてのアンケート調査を行う。プリオン病感染予防ガイドライン（2020年版）ハイリスク手術手技の解釈について、JSSR広報委員会を通じて学会ホームページ（会員向けではなく、一般向け）に掲載する。

（イ）貸出器械（Loan Instruments）使用患者が後日プリオン病と判明した事例報告（日本整形外科学会より）：酒井先生（JOA安全医療推進委員会アドバイザー）

酒井先生から下記報告がされた。

1. プリオン病感染予防ガイドライン（2020年版）ハイリスク手術手技の解釈について再度説明された。
2. JSSR学会ホームページで告知する案内文について、2022年2月17日のJOA理事会で承認された。
3. JSSR関連施設におけるプリオン対策洗浄の実施状況について、プリオン病感染予防についてのアンケート原案を作成しJOA安全医療推進委員会WGで再度検討した。
4. アンケート原案について本委員会で内容を確認し、修正すべき点など多数指摘があった。
5. JSSR倫理委員会申請のための研究計画書・審査依頼書を作成する。倫理委員会で承認後、web上アンケートを開始する方向。

2. 検討・報告事項

(ア) 脊椎脊髄手術における周術期抗血栓薬使用の安全性に関する研究：

酒井先生、手束先生

手束先生から研究進捗について下記報告がされた。

1. 前回の本委員会において学会で発表するスライドを供覧頂き、本調査について委員から指摘された箇所をスライド内容へ反映した。
2. 4月のJSSR学会発表へ向け、再度発表内容を委員で確認し、一部内容を変更した。

(イ) 脊椎手術における部位確認に関する研究：川口先生

川口先生から研究進捗について下記報告がされた。

1. 4月のJSSR学会発表に向け、前回の本委員会において学会で発表するスライドを供覧頂いた。
2. メールにて発表スライドを委員で確認し、一部内容を変更した。
3. 学会員への啓発も発表の目的であり、口頭で発表する文言について再度確認を行った。
4. 外部の者から本調査に関する取材依頼があった場合は受ける方向とし、回答については本委員会で事前に検討する。

(ウ) JSSR 統合型 DB 進捗状況：金村先生

金村先生から JSSR 統合型 DB 進捗について下記報告がされた。

- ・4月のJSSR学会会期中にJSSR-DBの報告を行う。
- ・2022年度は4月から通年で開始する。

3. 次回、次々回委員会開催日

- ・約1ヶ月後のJSSR理事会開催後に予定（1時間の見込み）
- ・理事会が最終月曜日のため、月によっては月初の水曜日に予定
- ・【次回】2022.04.23（土）朝、学会現地開催予定
- ・【次々回】2022.06.01（水）18時30分～